

教科	科目	学年	単位数	使用教科書	主な使用補助教材
国語	古典探究	2	3	精選古典探究 古文編 漢文編（東京書籍）	ステップアップノート30 古典文法基礎ドリル(河合出版) 基礎が身につく古典 レベル2（Z会） 精選漢文ノート（尚文出版）

1 科目の目標と評価の観点

目標	言葉による見方・考え方を働かせ，言語活動を通して，国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。			
評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度
	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，古典などを通した先人のものの見方，感じ方，考え方との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。		言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 学習計画と観点別評価基準

学習内容	学期	学習のねらい	観点別評価基準		
			知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【古文編】 古今著聞集 十訓抄 伊勢物語 大和物語 枕草子	1 学期 （ 3 7）	・展開のおもしろさを味わいながら，説話を正確に読み取る。 ・和歌を含んだ説話を，構成を的確に捉えながら読み取る。 ・中国の話が引用された説話を，構成の特色に注意しながら読み取る。 ・歌物語の特色に注意しながら，作品に表れているものの見方，感じ方，考え方を読み取る。 ・歌物語に表れているものの見方，感じ方，考え方を踏まえ，考えを深める。 ・随筆の内容を自分と関係づけながら，ものの見方，感じ方，考え方を広げる。	・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し，古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・古典の文の成分の順序や照応，文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・古典の作品や文章に表れている，言葉の響きやリズム，修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・古典などを読むことを通して，我が国の文化の特質や，我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 ・時間の経過による言葉の変化や，古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。	・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・「読むこと」において，必要に応じて書き手の考えや目的，意図を捉えて内容を解釈するとともに，文章の構成や展開，表現の特色について評価している。 ・「読むこと」において，作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み，その内容の解釈を深め，作品の価値について考察している。 ・「読むこと」において，古典の作品や文章について，内容や解釈を自分の知見と結びつけ，考えを広げたり深めたりしている。 ・「読むこと」において，古典の作品や文章などに表れているものの見方，感じ方，考え方を踏まえ，人間，社会，自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。	・進んで中国の話が引用された説話の構成の特色を理解し，学習課題に沿って，俊綱および成方の話と，趙の文王のエピソードとの共通性について考えようとしている。 ・進んで文語の決まりについて正確に理解し，学習課題に沿って作品に表れているものの見方，感じ方，考え方を読み取ろうとしている。 ・進んで歌物語の特徴や古典における和歌の効用について理解し，学習課題に沿って自らの考えを深めようとしている。 ・進んで時代の異なる複数の作品の特徴について整理・理解し，学習課題に沿って娵捨伝説が広まった理由について自らの考えを深めようとしている。 ・進んで作者の観察眼や「をかし」という語に代表される価値観について理解し，作者の価値観が現代でもあてはまる例について考察し，学習課題に沿って平安時代の後宮生活について自らの考えを深めようとしている。
【漢文入門】 小話―六編 近体詩―八首		・展開のおもしろさを味わいながら，漢文の読み方を確認する。 ・唐詩の鑑賞を通して，言語感覚や想像力を豊にする。	・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し，古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の文の成分の順序や照応，文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 ・時間の経過による言葉の変化や，古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。	・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・「読むこと」において，必要に応じて書き手の考えや目的，意図を捉えて内容を解釈するとともに，文章の構成や展開，表現の特色について評価している。 ・「読むこと」において，関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に，自分のものの見方，感じ方，考え方を深めている。	・進んで漢文の読み方を確認し，学習課題に沿って，故事成語の果たす役割について考えようとしている。 ・進んでさまざまな唐詩を読み味わい，学習課題に沿って，言語感覚や想像力を豊かにしようとしている。
定期考查	2				

学習内容	学期	学習のねらい	観点別評価基準		
			知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【古文編】 方丈記 徒然草 玉勝間 更級日記 蜻蛉日記 源氏物語 大鏡	2 学期 (3 7)	<ul style="list-style-type: none">・表現の特色に注意しながら、随筆に表れている作者の考えを的確に捉える。・随筆に表れている作者の主張を読み取り、ものの見方、感じ方、考え方を深める。・他の作品との関係を踏まえながら多面的・多角的に随筆を読み、考えを広げる。・他の作品との関係も踏まえながら日記を読み、作者の境遇を的確に捉える。・日記に表れている作者のものの見方、感じ方、考え方を、自分と関係づけながら読み取る。・他の作品や絵との関係も踏まえながら、作り物語の内容を的確に読み取る。・作品の特色に注意しながら、歴史物語の内容を的確に捉える。	<ul style="list-style-type: none">・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。・時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。	<ul style="list-style-type: none">・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。・「読むこと」において、古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしている。	<ul style="list-style-type: none">・進んで文章の特色や作者の考え方について理解し、学習課題に沿って自らの考えを深めようとしている。・進んで随筆の文章に表れた作者の主張について理解し、学習課題に沿って自らのものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。・進んで他作品との関連について理解しながら、学習課題に沿って随筆における作者の考えを捉え、自らの考えを広げようとしている。・進んで文学史における女流日記文学の位置づけについて理解し、学習課題に沿って作者の置かれた境遇や物語に向けられた心情について読み取ろうとしている。・進んで日記文学に表れた作者のものの見方、感じ方、考え方について理解し、学習課題に沿って自分と比較しながら考察を深めようとしている。・進んで他の作品で言及されたり絵に描かれたりした『源氏物語』と本文とを比較し、学習課題に沿って登場人物の言動や話の概要とその意味について考察しようとしている。・進んで作品の叙述の特徴や語り手の立場について整理・理解し、学習課題に沿って内容について意見を述べ合い、自分の考えを深めようとしている。
【漢文編】 項羽 劉邦 項羽と劉邦を比較する 儒家の思想 小説―三編 古詩―五首		<ul style="list-style-type: none">・『史記』を読み、項羽の生き方を通して人間のあり方について関心を深め、調べて発表する。・『史記』を読み、劉邦の生き方を通して人間のあり方について関心を深める。・項羽と劉邦の詩を読み比べ、その人生の共通点や相違点について調べ、発表する。・思想の異なる三人の儒家の文章を読み、各テーマに対する共通点や相違点を文章にまとめる。・小説の展開に即して、内容を正確に読み取りながら、発想や表現の特色を理解する。・古体詩の特色を理解し、詩にうたわれた情景や作者の心情を読み味わう。	<ul style="list-style-type: none">・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。・時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。・先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。	<ul style="list-style-type: none">・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。・「読むこと」において、古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしている。	<ul style="list-style-type: none">・進んで『史記』を読んで項羽の生き方について理解し、学習課題に沿って、人間のあり方について関心を深めたり、調べて発表したりしようとしている。・進んで『史記』を読んで劉邦の生き方について理解し、学習課題に沿って、人間のあり方について関心を深めようとしている。・進んで項羽と劉邦の詩を読み比べ、学習課題に沿って、両者の人生の共通点や相違点について調べ、発表しようとしている。・文章内容からそれぞれの考え方を進んで読み取り、その考え方について理解するとともに、学習課題に沿って各テーマに対する自分自身の考えをまとめようとしている。・漢文における「小説」について進んで調べ、学習課題に沿って調べた内容を工夫してまとめたり発表したりしようとしている。・進んで古詩五首の中で印象に残ったものを取り上げ、学習課題に沿って鑑賞文を書こうとしている。
定期考查	2				

学習内容	学期	学習のねらい	観点別評価基準		
			知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【古文編】 八代集の世界 歌合 歌論 歌謡 古典芸能への誘い 言葉の変遷を調べる	3 学期 (26)	<ul style="list-style-type: none">・表現の特色を踏まえながら、和歌の内容を読み取る。・構成に注意しながら歌合を読み、言語文化についての理解を広げる。・論旨を的確に捉えながら歌論を読み、自分の考えを深める。・和歌との関係も踏まえながら歌謡を読み、それぞれの特徴についての理解を深める。・さまざまな古典芸能に触れることで、古典についての理解を深める。・言葉の変遷について調べ、言葉についての認識を深める。	<ul style="list-style-type: none">・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。	<ul style="list-style-type: none">・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。・「読むこと」において、古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結びつけ、考えを広げたり深めたりしている。	<ul style="list-style-type: none">・進んで文語のきまりや和歌の表現技法について理解し、学習課題に沿って和歌の内容を読み取ろうとしている。・進んで歌合について理解し、学習課題に沿って文学的行事に表れる言語文化について考えを広げようとしている。・進んで歌論の論旨を把握し、学習課題に沿って和歌と歌論について自らの考えを深めようとしている。・進んで歌謡のリズムを味わい、学習課題に沿って和歌とは異なる歌謡の特徴について自らの考えを深めようとしている。・進んで古典芸能について理解し、学習課題に沿って古典に対しての自分の考えを深めようとしている。・進んで言葉の変遷について疑問を持ち、学習課題に沿ってその疑問について調べ、時代の移り変わりや社会の変化に伴う言葉の変遷や言葉の本質について自らの考えを深め、分かったことや考えたことをまとめようとしている。
【漢文編】 道家の思想 文一三篇		<ul style="list-style-type: none">・思想の異なる二人の道家の文章を読み、人間を巡るさまざまな思想を読み取る。・文章の構成や展開を理解し、さまざまなものの見方、考え方に触れる。	<ul style="list-style-type: none">・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。・先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。	<ul style="list-style-type: none">・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。・「読むこと」において、古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。・「読むこと」において、古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしている。	<ul style="list-style-type: none">・道家の考え方を進んで読み取り、学習課題に沿ってそれに対する自分の考えをまとめようとしている。・三つの文章に表されたそれぞれの人生観について進んで理解を深め、学習課題に沿ってまとめたり発表したりしようとしている。
定期考查	1				